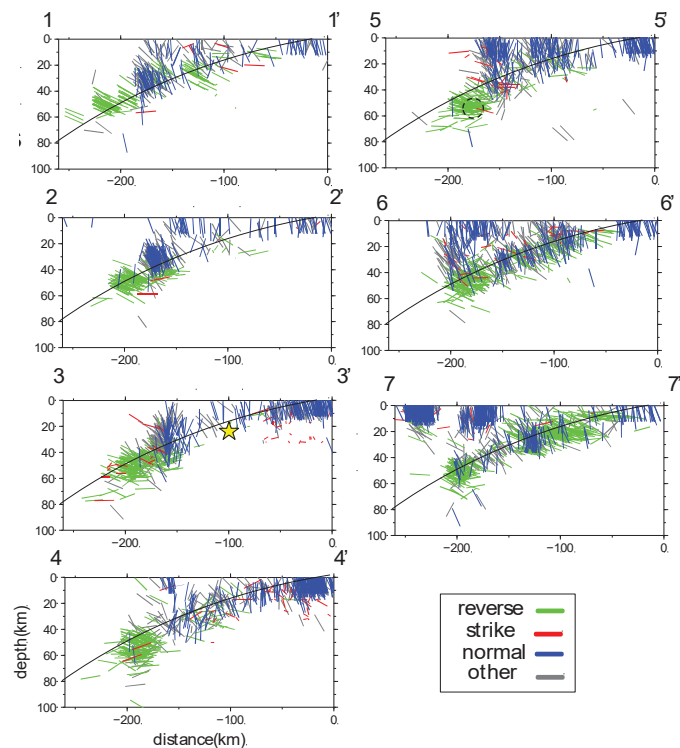
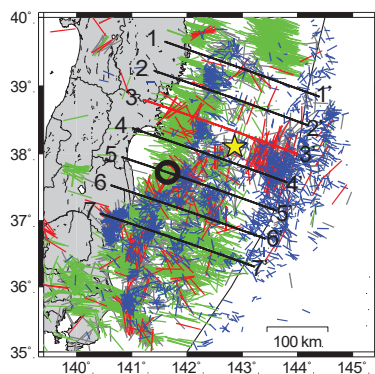


2021年福島県沖の地震の震源付近の地震メカニズム解について

京都大学防災研究所

防災科学技術研究所による F-net データ(1997年1月1日～2013年5月31日、5394個(東北沖地震前2830個、地震後2564個))、Kita et al.,(2010b)によるやや深発地震のメカニズム解データ(2002年6月1日～2007年9月30日、1144個)、Asano et al.,(2011)による CMT 解(2003年1月1日～2011年5月24日、1970個(地震前942個、地震後1028個))を用いて(重複分は Asano et al によるものを使用)、東北沖地震前後のメカニズム解を調べた(Chiba et al., 2012, EPS)。上側は地震前、下側は地震後の P 軸の分布を Frohlich(1992)による分類に沿って色分けして示したものである。丸印が気象庁による 2021 年福島県沖の地震の震源位置である。東北沖地震の前に、深さ 40～60km においては、プレート境界より深い側には水平に近い P 軸を持つ地震は少ないが、福島県沖の地震の震源付近では例外的に、ほぼ水平の P 軸の地震が起こっていたことが分かる。

東北沖地震後のメカニズム解の P 軸の分布



東北沖地震前のメカニズム解の P 軸の分布

1997 1/1 - 2011 3/11 P-axis

